

第3回信濃美術館整備委員会 議事録

○開催日時 平成29年11月1日(水) 13:30～15:30

○場所 長野県庁3階 特別会議室

○出席者

委員 竹内委員長、荻原委員、北村委員、小坂委員、近藤委員、野原委員、橋本委員、樋口委員、福島委員、松本委員、本江委員、山浦委員
(欠席:佐野委員、谷委員、土屋委員、若麻績委員、渡辺委員)

長野県 青木県民文化部長、中坪県民文化参事兼文化政策課長、日向信濃美術館整備室長、荒城施設課長、高山信濃美術館整備室課長補佐

設計者 (株)プランツアソシエイツ 代表取締役 宮崎浩氏、副所長 吉満聡氏

1 開会

(高山課長補佐)

ただいまから、第3回信濃美術館整備委員会を開催します。私は本日の進行を務めます、信濃美術館整備室課長補佐の高山です。どうぞよろしくお願ひします。

はじめに、青木県民文化部長よりごあいさつ申し上げます。

2 あいさつ

(青木県民文化部長)

第3回目の信濃美術館整備委員会の開会にあたりまして、ごあいさつ申し上げます。

本日は、委員の皆様方には大変お忙しい中、ご出席を賜りまして誠にありがとうございます。

前回の委員会開催以降、9月から10月にかけて、本日お越しの設計者、株式会社プランツアソシエイツ代表取締役の宮崎さんを中心とした設計チームの皆様が、県民の皆様から多様なご意見やご要望を直接お聞きし、対話を重ねながら設計案をまとめる「県民リレー・ワークショップ」を、地域別・利用者別に計9回、開催させていただいたところでございます。

本日の委員会ではワークショップ等でお聞きしたご意見や、文化庁・東京文化財研究所からのご助言、それから信濃美術館の学芸員の意見などを踏まえて作成した設計素案を中心に説明させていただきたいと考えております。

それぞれのお立場から忌憚のないご意見、ご助言を賜りますようお願い申し上げます。簡単ではございますがごあいさつとさせていただきます。

どうぞ、よろしくお願ひ申し上げます。

3 議 題

(高山課長補佐)

本日は委員のうち、佐野委員、谷委員、土屋委員、若麻績委員、渡辺委員が都合により欠席されております。

会議は、設置要綱により、委員長に議長をお務めいただくことになっております。以降の進行を竹内委員長にお願いしたいと存じます。よろしく申し上げます。

(1) 信濃美術館整備事業の基本設計素案

(竹内委員長)

分りました。本日の会議の終了時間は概ね3時半を目途にしたいと考えております。皆様のご協力をお願いします。

それでは早速議題に入ります。はじめに、(1) 信濃美術館整備事業の基本設計素案について、前回に引き続き、設計者の宮崎浩さんにお越しいただいておりますので、設計素案について説明していただきたいと思っております。

それでは、宮崎さん、よろしく申し上げます。

(株)プランツアソシエイツ 宮崎氏)

資料1～5及び模型について説明

(竹内委員長)

ありがとうございました。委員の皆様方、ご質問等ございましたらお願いします。

(竹内委員長)

模型の公園の部分は現在検討中の表示になっていますが、長野市、善光寺との調整はこれから行われるのですか。

(株)プランツアソシエイツ 宮崎氏)

はい。城山公園には歴史的な噴水があります。この噴水のあり方も踏まえて、長野市と調整しながら、美術館と公園が一体となったデザインを探し出すという非常に難しい課題に取り組んでおります。

(竹内委員長)

委員の皆様、ご質問等ございましたらお願いします。

(樋口委員)

城山公園には、噴水広場の他に、ふれあい広場という大きな公園があります。城山公園全体との調和を上手くとした設計にしていきたいと申し上げます。

全体を大きく俯瞰していただき、噴水広場だけではなくて、ある種の樹木的なグラデーションを含めて、空間処理していただけるとよいと話しています。

(株)プランツアソシエイツ 宮崎氏)

ふれあい広場とは是非つなげていきたいと考えています。

(竹内委員長)

城山公園再整備全体のマスタープランができるのは、まだ少し先と聞いています。

(株)プランツアソシエイツ 宮崎氏)

我々としては、公園全体の考え方を整理する程度しかできないのですが、それを踏まえた上で、ここに噴水広場がある意味を提案したいと思っています。

例えば(模型を示して)、この場所には現在「こども広場」がありますが、果たしてこの場所にあるべきか。例えば、ふれあい広場に集約することも考えられるのではないか。そういう話は、一発で決められることではないですが、全体を考えながら知恵を出して、調整しながら進めていきたいと思えます。とても大事な部分と考えています。

(竹内委員長)

本日の委員会は、このプランについて、皆様からご意見をいただくのが大きなテーマです。これからいろいろなご意見が出ると思いますが、その前に、美術館運営専門委員会で並行して、このプランについて検討しておりますので、美術館運営専門委員会委員長の松本委員からご説明をお願いします。

(松本委員)

10月20日に開かれた第3回美術館運営専門委員会では、基本設計素案について、美術館運営の視点から多くの貴重なご意見、ご示唆をいただきました。

その中から、大きな事柄にかかわるご指摘等をいくつかご報告させていただきました。まず、宮崎さんの説明でも緑、黄、赤の色分けがされていましたが、展示スペース、それから入館料を払わないで公園のように自由に入れるスペース、それから事務スペースなどのバックヤードなどのゾーニングがしっかりしていてよい。現にとってもこの建物の説明がしやすくなりました。これは開館後の管理運営やセキュリティの面でも非常に合理的な計画ができるであろうと思っています。

それから各ゾーニングについていくつか申しますと、一つは、善光寺から歩いてきて最初にあるのがフリーの交流ゾーンです。ここは実技系のワークショップや公開制作など、いくつかスペースを考えていますが、あまり小さく部屋を区切らずに、少しおおらかに開いた融通の利く間取りにしたほうがよいとの意見がありました。

それから主要な展示スペースは、東山魁夷館の1階と同じレベルの2階に1,500㎡ありますが、1階に500㎡の展示室があり、2階まで吹き抜けの一番天井が高い

空間になっています。ここには大きな作品の展示が可能で、現代美術やビデオ作品、それから天井から吊るす作品などもあることが考えられることから、荷重の問題も考えて設計してほしいとのことでした。

それから、地下1階に多目的ホールがあります。こちらは地下1階の県民ホール500㎡でも展示スペースが足りない場合に、多目的ホール300㎡を展示室としても使える仕様にする計画です。ここは主に講演会やシンポジウムに使うことから、音響や映像のプロジェクションのこともよく考えて室内設計したほうがよいとの意見をいただきました。

それからもう一つは屋上広場についてです。ここからの眺望は、これまでは信濃美術館の建物が視界を塞いでいましたが、今まで見えなかった非常に広々とした、さぞかし美しい光景になると思います。そういう訳ですから、この屋上広場には、彫刻庭園のように大きな彫刻を永久設置することは考えておりません。ただし、野外彫刻の展示に使えますし、様々なイベント、あるいは展覧会にも使えると思っています。屋根の空間に登れて地続きで歩ける。突端近くまでいけば善光寺が広がっている。この広々とした屋根の空間を大切にしようと思っていると話をいたしました。委員からは、趣旨はご理解いただきましたが、屋上広場はよりはっきりとした、これをやる、あるいはこれをやらないといった計画を持ったほうがよいとの意見をいただきました。

専門委員会からのご意見やご助言、それから本日の整備委員会からのご教示を踏まえて、さらに基本設計の作業を進めてまいりたいと考えております。

(竹内委員長)

ありがとうございました。それでは、皆様からご意見等ございましたらお願いします。

(山浦委員)

雪の対策へのお考えはいかがでしょうか。

(株)プランツアソシエイツ 宮崎氏)

屋上広場に庇状の設えを用意することにより、屋上の雪越しに雪景色の善光寺を見る。例えば、屋上階ではそのようなことを考えています。

また、全ての場所に融雪装置を入れることは不可能ですが、管理面を考えるとアプローチ部分には入れたいと思っています。井水が利用できると一番エネルギー消費が少なく済むので、現在、県に井水調査をしてもらっています。井水が利用できるようであれば、井水を使った融雪装置を設置したいと思っています。

(山浦委員)

エントランスは北側になりますね。北側は雪が解けないと思います。ですから、エントランス付近に融雪装置を考えていただかないと非常に具合が悪いと思いま

す。

(竹内委員長)

雪対策ですね。

(山浦委員)

60cmぐらい降るときもありますので。

(竹内委員長)

屋上広場に上部パーゴラとありますが、これはどういう意味ですか。

(株)プランツアソシエイツ 宮崎氏)

庇状の透明感のある屋根をイメージしてください。善光寺を望む視線のその上に雨や日差しを防ぐ簡易な屋根があると思っていただくとよいです。本格的な建築の屋根ではない簡易な屋根です。

例えば、テントの可能性もあるかもしれませんが、そういうものを屋上の一部に設置できたらよいと思っています。

(竹内委員長)

最近、流行っているのはルーフガーデンと言いまして、屋上を上手く展示空間にして彫刻などを並べたりすることがあります。

パーゴラはそうではなくて、簡易屋根と考えてよい訳ですね。

(株)プランツアソシエイツ 宮崎氏)

そうです。

(北村委員)

それは取り外しができるのですか。

(株)プランツアソシエイツ 宮崎氏)

それは今後の検討になります。例えば、季節がよいときはテントが開いて、雨のときには屋根がかかるようなものができる理想的ではあります。もしくは簡単な屋根のみ架けた大きなあずまや四阿のようなものをイメージしています。

(松本委員)

パーゴラをルーフの全面に設置するというのではなくて、東側の通り、一番高いところからの入口の一部に架けるということですね。

(株)プランツアソシエイツ 宮崎氏

そうです。

(竹内委員長)

入口のエントランスホール付近は、北を向いているので、雪対策はどうかという質問をいただいた訳ですが、非常に大事なところですが、今のところ、どのようなお考えで方向付けようとされているのでしょうか。

(株)プランツアソシエイツ 宮崎氏

どのようにお客さんの動線を含めて考えていくか、全面に融雪装置を入れるのでは費用面が大変ですので、どのルートの融雪を前提にやっていくか今後検討していきます。

(竹内委員長)

何らかの対策が必要ですね。

(株)プランツアソシエイツ 宮崎氏

はい。除雪機械については屋外倉庫を外部からも利用しやすいところに2か所設置しています。今後、公園を含めて、どこまで雪かきをするか整理していく必要があります。

それともう一つは、この辺は冬の風景という言い方は変ですが、雪が積もってよいところ、逆にきっちり除雪するところなど適材適所の融雪が必要になると思います。

(竹内委員長)

雪があったほうがよい場合もありますね。

(株)プランツアソシエイツ 宮崎氏

そうですね。ですから、善光寺を屋上から見るのに手前のほうは大丈夫で、奥のルーフは雪の中で善光寺を見ることになってもよいのではないかと考えています。2haの敷地ですので、全ての場所に融雪装置を設けることができません。それは仕方がないと考えています。

(山浦委員)

北側は日が当たらない。私はそこを心配しています。電気では相当維持費がかかりますし、運営のこともありますので、何かよい方策を考えていただきたい。

(株)プランツアソシエイツ 宮崎氏

井水が利用できるならば井水を使った融雪をやりたいのですが、井水が使えるか

どうかは未定です。

(橋本委員)

毎回、私も設計者との合同会議に参加していますが、屋上広場に関してはまだ十分に話し合っていないです。現状から言うと、職員の雪かきは非常に大変です。

今回、大きさが書いてないので、屋上広場は広大だという表現しか見当たらないのですが、かなり大きいですね。いくら融雪といっても、今年の冬のように毎日のように雪が降ると職員が雪かきで大変です。

それと善光寺と北側からの通路、美術館へ行くまでの雪かきも必要になってきます。そういったところも、先ほど俯瞰的なという樋口委員からのお話がありましたが、建物ばかりではないですね。美術館に行くまでの通路の確保も必要ではないかということです。

それから、私たち冬に着目しがちですが、最近は夏が長くて暑いですね。先ほどの^{あずまや}四阿という発想があるので、ある程度は直射日光が防げるかもしれませんが、多くの方が入ったときに十分かどうか。

それから地震などの災害のときに避難場所にもなると思います。そうすると、避難場所としてどのように活用できるのか。メインになるということは、裏返せば活用度が多いのです。ですから、その点もご配慮いただければと思っています。

(近藤委員)

これまで、全ての回に出席した訳ではありませんが、前回出された様々なご意見を、非常に重要なものをうまく吸い上げてまとめて、公園と美術館の一体的整備ということで非常に多くの要望に応えた大変よいプランだと思います。

これはハードの議論ですが、あくまでソフトを使いやすくするためのハードという観点から見ると、ソフト面でのこれまでのいろいろなご意見の中で、私は子どもが美術館を好きになり、何度も来たくなる。それによって美術、芸術が好きになるような雰囲気にすることに重点を置いていただきたいと思います。

ハード面でどこまでのことができるのか分かりませんが、交流スペースや多目的ホールは、できるだけ子どもたちが楽しめる、難しい勉強をしに来る訳ではなくて、楽しめるような工夫をハード面でもやっていただくことを切に希望しております。

それからもう一つは、修復について。修復過程を見ることは、子どもたちにとっても我々素人にとっても非常に興味深いですし、作品をつくった人の魂を修復の過程を見ることで実際に感じるすることができます。何か修復過程を見せるような工夫ができないかというのが2点目です。

最後は、非常時の対応です。しっかりとした収蔵庫の確保と同時に、身近に来た地震でここがやられてしまって、ここから作品を持ち出さなければいけないときにスムーズに搬出ができるような、いざとなればここを開いて短時間に、あらかじめ決めた順番どおりに収蔵庫や展示室から作品を運び出して安全なところへ持って

いくような、ドレスデンでそういうことを工夫したという話を聞いたので、ハード面で制約にならないような、主としてソフトのことですが、それを助けるようなハードの工夫をしていただけるとありがたいと思います。

(竹内委員長)

どうもありがとうございました。他にご意見等ございますでしょうか。

(小坂委員)

善光寺東庭園とのアクセスが、プロポーザル案ではブリッジであったものがなくなったのは経費面からの理由でしょうか、それとも別の理由でしょうか。

(株)プランツアソシエイツ 宮崎氏)

善光寺の東参道を歩いて来ると車道に出てしまいます。それに対して、車道を狭めて歩道を設けることで、交差点付近に溜まりをつくることのできるのではないかと、長野市と善光寺と協議しています。一番の理想は、地上レベルでアプローチできることですので、あえて2階で結ぶ必要はないという積極的な理由で中止しています。もう一つには、城山公園に入るときの広がりを見ると、ブリッジがないほうが、公園と善光寺がよりつながると判断して1階部分で積極的に結ぶ考え方で進めております。

(小坂委員)

それでも、どうしても信号はありますよね。

(株)プランツアソシエイツ 宮崎氏)

あります。スクランブル交差点に変わりそうな話は聞いています。

(小坂委員)

個人的意見ですが、善光寺に来るたくさんのお客さんを美術館に招く上で、スムーズにノンストップで行けるほうがよいのではないかと思います。信号で止められる心理的抵抗を今まで感じるものですから、それがなければよいと思いました。

(株)プランツアソシエイツ 宮崎氏)

もしブリッジを設けるとしたら、善光寺側にエレベーターも用意して誰でも行けるようにするところまでしないといけないと思います。

それよりも信号を待つことも楽しみという大げさですが、参拝した人が東参道を通りながらそのまま 城山公園に入ることを優先して、ブリッジを外す案を計画しました。

(竹内委員長)

今のところ善光寺のお客さんのほうが多い前提で動いていますが、これからは少し変わるかもしれませんね。

(北村委員)

現在、私は長野市の城山公園再整備検討委員会の委員を務めていますが、現在の歩道橋は本当に利用率が低いです。なおかつ体の不自由な方は通れないです。ですから、エレベーターで上げるのも一つだと思いますが、今の歩道橋は、善光寺からの眺めを遮ることもあり、歩道橋を取り外した上で、信号をスクランブルで渡るようにする方向で話しています。今、歩道橋があるがために待っている場所がないので、そういった面でも歩道橋は取り外す方向になっています。

(株)プランツアソシエイツ 宮崎氏)

歩道橋を撤去しながら、手前の善光寺側に十分な広さを確保し、ポケットパーク的な滞留空間を計画しています。

今は、信号の前で変な待ち方になっていますが、そこが公園のような場所なるように計画しています。

(竹内委員長)

ありがとうございます。他にいかがでしょうか。

(荻原委員)

本当にいろいろな意見を取り入れてつくられたプランになっていると、説明を伺いながら拝見していました。

美術館の中の話になってしまいますが、交流スペースをワークショップなど様々な形でお使いになるご予定かと思います。

細かい話になりますが、例えば、子どもたちのアトリエのような使い方をするとき、子どもが床に座ったときの素材としてあたたかいものがよいとか、あるいは創作活動のときに、汚しても後の掃除が楽だとか、あるいは水回りですね。今後の話になりますが、使い勝手をいろいろな形で想定したほうがよいと思います。

(株)プランツアソシエイツ 宮崎氏)

予測していない使い方も起きそうな気もしています。

(荻原委員)

柔軟に使える形にされるとよいと思います。それと同じく、展示室Dの吹き抜け空間についても予測し得ない現代美術作品の使い方があり得ると思いますので、荷重や吊り元の問題など使い勝手のよい空間にされるとよいと思ったのが2点目です。

それから、エレベーターや階段以外に、スロープでフロアを移動できる計画はあ

るのでしょうか。

(株)プランツアソシエイツ 宮崎氏

スロープで3層上がるとかなりの面積を取りますので、スロープは計画しておりません。その代わり、緑と青の二つの施設に対して、エレベーターの数は増えますが、それぞれにエレベーターを設けています。障がい者の方ともお話しをしましたが、外から中の様子が分かるエレベーター、ガラスのエレベーターなどを各所に配置することで対応したいと考えています。

(竹内委員長)

最近、エスカレーターがある美術館が多くなってきましたが。

(株)プランツアソシエイツ 宮崎氏

延床面積1万㎡という制限の中で取捨選択をしなければいけません。上りだけでもエスカレーターがあったほうがよいとの意見もありましたが、エスカレーターを設けることによって、横に階段も必要になりますし、全体の面積のバランスの中ではマイナスになると判断しました。

(竹内委員長)

何ができて、何ができないか区別しなくてははいけませんね。

(荻原委員)

エレベーターが分りやすく多くの方が使えるようになるとのことでしたが、これから高齢の方が増えてくる訳で、公園を歩いてきて、さらに美術館の中を歩くことがストレスになることも想像できますので、そのあたりの動線も分りやすい案内になるとよいと思います。

屋上広場の使い方に関しては、これだけの広さですので、非常に魅力的な使い方ができると思いますが、やはり管理面でのレギュレーションの検討をされるとよいと思います。

(竹内委員長)

これは、今の意見に関連しますが、消防とのすり合わせはされていますか。

(株)プランツアソシエイツ 宮崎氏

この建物では、距離の問題はありますが、階段を使わなくても、各階が接する道路に直接出ることができます。

まだ、100%消防と打ち合わせができていない訳ではありませんが、この建物は各階とも避難階に認められるのではないかと考えています。そう簡単な判断ではないと思いますが、3階とも道路に接している非常に安全な建物になると思っています。

(竹内委員長)

火気を使う場所などのディテールが決まっていなくて消防署も何とも言えないと思いますが、今後ともよろしく願います。

他にご質問等いかがでしょうか。

(野原委員)

いろいろな意見を取り入れられており、非常によくできていると感心しております。

先ほど、屋上にパーゴラを付けるとのことでしたが、積雪の荷重はどの程度のものかを考えているのかお聞きしたい。

(株)プランツアソシエイツ 宮崎氏

それも今後の検討ですが、この地域の積雪の情報は持っていますので、最大の積雪が起きたときでも耐えられるものを計画します。

前回、野原委員がおっしゃられた県民の意見を非常によく聞いていただくというのは、今、お話をいただいたのですが、それが観光的に内向きにならないようにというお話があったのがすごく心に残っています。今、その答えは出せていないのですが、県民や市民、それから美術館として使いやすいことと、最先端の観光施設であることは別のことで、どのように運用し、アピールするかは、建築設計と並行して違う検討をしなければいけないと思いつつも、明確なイメージを含めてどうしたらよいか分らないまま今に至っております。

(野原委員)

よろしく願います。ありがとうございました。

(竹内委員長)

他にいかがでしょうか。

(樋口委員)

この建物は免震工法でつくられるのか、耐震工法でつくられるのか、どちらなのでしょう。

(株)プランツアソシエイツ 宮崎氏

耐震工法を考えています。免震工法は、どちらかというと長野市役所のような背の高い建物に合う工法です。低層の建物は揺れにくいので耐震工法で計画します。

(竹内委員長)

関連して、耐震工法であれば、個々の展示物が、ひよろ長いものや彫刻などのと

きは、免震台のようなものが必要になりますね。

(株)プランツアソシエイツ 宮崎氏

それはこれから展示計画の中で検討することになります。全ての展示ケースを免震ケースにすると膨大な費用がかかりますので十分な検討が必要です。

(竹内委員長)

それは費用がかかりますよね。

(株)プランツアソシエイツ 宮崎氏

美術館のコレクションと、作品を借りるためのケースを含めて、展示ケースの予算内でどのようなバランスでやっていくかを検討していきたいと思っています。

(竹内委員長)

展示ケースで解決する場合と、展示台で解決する場合の両方が出てきますので、それは今後の対応をお願いします。

(山浦委員)

今さら言っても遅いかもしれませんが、うちは銀行ですが、1階にギャラリーがあります。入口は単なるロビーで初めは全然予定していなかったのですが、ロビーコンサートをやっています。もう300回ぐらいやっていますが、非常に人気です。

1回開催すると家族や知り合いが来て100人ぐらいになる。美術に関心がある人とは違う人が来て、美術に親しむことができ非常によいと思っています。

やるかやらないかは別ですが、そういうことができるスペースを考えたほうが具合がよいと思いますがいかがでしょうか。

(竹内委員長)

とても大事なご指摘です。どこの美術館でも音楽を取り入れています。いろいろなやり方がありますが、その辺はどのようなイメージでしょうか。

(松本委員)

東山魁夷館では年に何回か室内楽のコンサートを開催しています。新しい建物で演奏に使える場所は、地下の多目的ホールがあります。屋根のある公園と呼んでいる交流スペースも規模によっては使えると思います。それから、季節によりますが、屋上広場も使えると思います。

(竹内委員長)

この辺は臨機応変に空間を見ながらでしょうか。

(北村委員)

今、山浦委員の提案は私も思っていたことです。そしてもう一つ、エントランスホールで展覧会のオープニングセレモニーをやると思います。そのスペースがしっかり確保できているか。今の信濃美術館ではちょっと狭ですね。

(株)プランツアソシエイツ 宮崎氏

十分な広さは取れていると思います。図面では非常に小さく見えますが、エントランスロビーは、縦空間も含めて豊かなボリュームは持っております。

(北村委員)

分かりました。そこで今のように弦楽四重奏ぐらいできればよいと思います。

それともう一つ、南東の隅にテラスがあります。このテラスは1階にあり、その周りは土塀が縦になっています。何かすごく閉鎖的な空間のような気がします。これでテラスが活きるのかなと思いました。

(株)プランツアソシエイツ 宮崎氏

登り庭のようになっています。応接室を含めて内側からの見え方を優先したイメージで、登り庭の緑を眺めながら、上からは覗かれない仕掛けにするつもりです。

展示室などの主要部分は外気に面さないで、この部分は1～2階を含めて非常に貴重な場所です。2階ですと、学芸員の会議室があるので、なるべく光や風など自然のイメージを大事にしながら、魅力的な場所にしたいと考えています。

(竹内委員長)

これは半分公開、半分非公開という微妙なところですね。

(株)プランツアソシエイツ 宮崎氏

この場所は一般の方は入れない場所になる予定です。

(北村委員)

私はテラスから広いところを見るのが好きです。ホテルでも海が見えると気持ちがいいものです。すぐ目の前に斜めの斜面があるのはどうなのかというのが個人的な意見です。

(株)プランツアソシエイツ 宮崎氏

広い風景は公園側で見せて、この場所はどちらかというと限られた人の専用の空間というイメージです。

特別のお客様、例えばアーティストを招待する場合など、そのような際のプライベート的なテラスとお考えください。

(竹内委員長)

他にたくさん公開する場所がありますからね。他に何かございますか。

(樋口委員)

先ほど、ロビーコンサートの話がありましたが、ロビーがそういうことができる一つのスペースだと思います。美術館でのコンサートというスペックなのか、それとも、ある程度、音響も意識したスペックなのかという話になったとき、残響の部分を少し意識してもらおうと全然違います。芸術の拠点をつくる訳ですので、音楽も響きのよいロビーだというぐらいのスペックを意識していただけると、大変ありがたいと思います。よろしく願います。

(竹内委員長)

はい、どうぞ。

(橋本委員)

山浦委員や樋口委員からコンサートの話をいただきました。東山魁夷館は、モーツアルトの曲を聞きながら絵画制作をしていましたので、開館時から20年間是一流の演奏家をお招きして行っていました。最近では、才能教育研究所の子どもたちの演奏などもやっています。ですから、今度は新しい美術館でどの場所をコンサート用の展示室にするかを決めないといけないと思います。

つい最近では落語もやりました。多様性はとても必要だと思います。いろいろなことができる可能性のある展示室が1か所、何か特別な工夫をするとよいのではないかと思います。

それから、北村委員からも開会式のときの話をいただきありがとうございます。本当に現状からのご意見だと思いますが、非常に重要なところだと思います。

(竹内委員長)

他にございますでしょうか。

(福島委員)

善光寺と城山公園の間の道路は交通量が多いですので、渡りやすい工夫をお願いします。また、善光寺北側の交差点も横断歩道がありますが渡りづらいです。渡りやすい道路にしていきたいと思います。

(竹内委員長)

善光寺とのアクセスは非常に重要な課題です。城山公園の検討状況との関係もあると思いますが、よい方向になることを期待しています。

他にご意見等ございますでしょうか。

(小坂委員)

屋上広場の長さは善光寺本堂よりも長い感じで、でき上がると壮観だろうと思うのですが、全長何mぐらいあるのでしょうか。

(株)プランツアソシエイツ 宮崎氏)

100m近くあります。

(小坂委員)

それだけで売り物になりますね。ウッドデッキになるのですか。

(株)プランツアソシエイツ 宮崎氏)

そこはこれから検討させてください。使い方によって材料を何にするか、柔らかく迎えたいところでもありますし、いろいろなことができる場所です。公園を広場的に使うとウッドデッキはよいのですが、耐久性の問題、メンテナンスが大変なので、一部にはコンクリートのパネルとか、そういうものを組み合わせながら、そこにいるだけでもゆっくり楽しめるデザインで、全部同じような仕上げにはしたくないと考えています。

それから、屋根は草原のような緑を巡らせることにより、周縁デザインの処理を行う予定です。材料は、今後ずっと悩み続けるうちのひとつだと思っています。

(松本委員)

先ほど、彫刻を永久設置はしないと申しましたが、もちろんベンチなど休む場所をつくろうと宮崎さんと話しています。

(竹内委員長)

美術館の中で100mは巨大でありまして、今、日本で100m取れている美術館は、東京国立博物館平成館で廊下が100mあります。国立歴史民俗博物館も100m、多分、九州国立博物館も100mあると思います。

つまり、巨大な感じがいろいろな点で出ていますが、建築家に向かって、大きさの認識をなささいというのは言い方がおかしいですが、美術館の中で100mがいかに巨大かということを認識いただければと思います。承知の上でつくることは一向に構わないと思いますが、そういう感じがします。

(株)プランツアソシエイツ 宮崎氏)

展示室のひとコマが18mぐらいの長さになっています。そのスパンにプラス道路際という感じです。

(竹内委員長)

他に何かございますでしょうか。

(橋本委員)

ゾーニングに関してはとても工夫されていますし、たくさんのご意見を聞いて、宮崎さんは反映されて設計されたと高く評価しています。

東山魁夷館との関係でご配慮されたというお話がありましたが、やはり長さが出ると、この距離は長いですね。東山魁夷館と接続する廊下の幅は2mなのか、3mなのか、障がいがある方も足腰の弱い方もいらっしゃる。新しい美術館では、たくさん展示室ができます。今の美術館は展示室が2つしかないの、その勢いで東山魁夷館に行かれたのですが、今度はたくさん企画展や常設展があります。それから県民ギャラリーもある。そこを観て東山魁夷館に行くとなると、やはりかなりの距離がある。廊下の幅は分かりませんが、憩いの場を工夫するなどいろいろご検討されていますが、単純な廊下よりも途中に空間があって休憩スペースがあるとかなり違ってくるのではないかと思います。

高齢の方や障がいのある方にとってはきつい直線コースですので、工夫していただきたいと思います。

(株)プランツアソシエーツ 宮崎氏

これから計画しますが、これまではストレートに東山魁夷館に入っていましたが、ブリッジを渡ったところにラウンジを設けることを考えておまして、本館、東山魁夷館両方にお休み処を設けることを考えています。

(橋本委員)

車イスの方にとってはストレスのない広さが必要です。やはりそういう方々の立場に立った廊下にしていただきたいと思います。

(株)プランツアソシエーツ 宮崎氏

どれくらいの広さが適正か検討し、細かい寸法を出していきたいと思っています。

(竹内委員長)

どうもありがとうございます。

(北村委員)

もう一つ、よろしいですか。文化芸術の関係を検討する席で誠に言いづらいのですが。

ワークショップの意見にもありますが、喫煙所の位置について配慮してほしいとあります。館内での喫煙スペースは全く考えておられないですか。

(株)プランツアソシエーツ 宮崎氏

私は吸うほうなので、私はほしいと思っていますが。全館禁煙は隠れ吸いが出る

のでまずいという考えもあります。外を含めて1か所はつくるべきだと思います。

どこでもそうですが、全館禁煙にした瞬間に、美術館は建物の中で吸う人はいないにしても、隠れて吸って事故のもとになります。今、喫煙者はどこに行っても吸ってくださいと言えば素直に行きますので、打ち合わせをしながら、ぜひ1か所は設置したいと思っています。

(北村委員)

私の立場でも、長野市に歩行喫煙禁止の条例をお願いしています。そういった中で、全部をやめてどこにも吸う場所がなければ必ず吸殻は増えます。ですから、その辺で喫煙者も守っていただくと言いますか、そうですね。

(株)プランツアソシエイツ 宮崎氏)

そう思います。

(竹内委員長)

この中には私を含めて喫煙者が多いのです。

(樋口委員)

煙草のポイ捨ての問題と、受動喫煙の健康被害の問題は基本的に違うと思います。今、長野市は確かにポイ捨て禁止の話を進めて条例化し、さらに強化しようと思っています。

受動喫煙は、今、国で法律が動いています。東京都は、子どもがいる部屋では個人のお宅でも吸ってはいけない条例をつくらうとしています。

その辺は県の基本的な方針になるのではないかと考えています。長野市も基本的には主要施設内は、できるだけ禁煙を進めたいと思っています。

ただ一方で、今のお話のように、喫煙者の権利があるので、そこをどのようにしていくかもあると思います。

(竹内委員長)

他に何かございますでしょうか。

(竹内委員長)

それでは、今後、これらの意見を踏まえて次の段階へ進めたいと思います。よろしくをお願いします。

(2)「県民リレー・ワークショップ」の開催状況について

(竹内委員長)

それでは(2)「県民リレー・ワークショップ」の開催状況について、事務局か

ら説明をお願いします。

(日向信濃美術館整備室長)
資料6について説明

(竹内委員長)
ご質問等ございますでしょうか。
また何かございましたら、後でご意見をいただくことで、次に進みます。

(3) 長野県美術品収集審査委員会の設置

(竹内委員長)
次に(3)長野県美術品収集審査委員会の設置について、事務局から説明をお願いします。

(日向信濃美術館整備室長)
資料7について説明

(竹内委員長)
ご質問等はございますでしょうか。特にないようですので、次にまいります。

(4) その他

(竹内委員長)
次に、(4)その他について、何かありますでしょうか。

(高山課長補佐)
今回の委員会は、年明けで開催を調整させていただきたいと考えておりますので、よろしくをお願いします。

(竹内委員長)
ありがとうございました。用意された議題は以上です。円滑な議事進行にご協力いただき、ありがとうございました。
それでは事務局にマイクをお返しします。

(高山課長補佐)
竹内委員長、ありがとうございました。
本日の議事内容は、後日、各委員の皆様方に発言内容を確認していただいた上で、県のホームページに掲載させていただきますので、よろしくをお願いします。

4 閉 会

(高山課長補佐)

以上をもちまして、第3回信濃美術館整備委員会を閉会します。
皆様、ありがとうございました。